

長良川砂礫河原勉強会の開催について

概要

長良川の砂礫河原は、千三百年もの歴史を持つ鶺鴒の舞台として、かつては眩しいぐらいに白く輝く美しい河原でした。しかし、現在では外来植物などの繁茂により、その美しさは失われ、緑で覆われてしまっている状況です。

そのため、長良川の砂礫河原を再生する工事を実施しているところですが、工事後、白く美しい砂礫河原を維持していくためには、人の手によって外来種が増えないよう管理していくことが必要です。

そのため、下記のとおり勉強会を開催しますので、お知らせいたします。

1. 開催日時・場所

日 時：平成26年11月8日(土) 13:00～17:00 ※雨天決行

場 所：室内講義・・・長良川うかいミュージアム 四阿(あずまや/休憩所)

岐阜県岐阜市長良 51 番地 2 TEL:058-210-1555

現地見学・・・長良川右岸(岐阜グランドホテル前 河川敷)

2. 内容

- ◇ 外来種について学ぼう
- ◇ 見て触れてみよう
- ◇ 意見交換会

(※) 詳細は、添付の長良川砂礫河原勉強会のチラシをご参照下さい。

長良川砂礫河原勉強会チラシは木曾川上流河川事務所HP インフォメーション

(<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/index.html>)からもご覧いただけます。

3. 添付資料

長良川砂礫河原勉強会のチラシ

4. 配布先

岐阜県政記者クラブ

5. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所

副所長 稲葉 傑(いなば すぐる)

河川環境課長 日高 初淑(ひだか はつよし)

TEL : 058-251-1378



～ 長良川砂礫河原勉強会 ～

未来に残す 「長良川の白い砂礫河原」

●開催日時●

平成26年11月8日(土) 13:00～17:00

※雨天決行

開催場所

- 室内講義：長良川うかいミュージアム 四阿(あずまや/休憩所)
- 現地見学：長良川右岸(岐阜グランドホテル前 河川敷)

定員・参加費

- 30名(要予約)
- 参加費無料



お気軽にご参加ください!!
・長良川が好きな方
・外来種について学びたい方
・自然保全活動に興味のある方

●プログラム●

■外来種について学ぼう (室内講義:13:00～14:30)

①知らなかった!身近な水辺に「変」な植物がいっぱいです

[平成26年度岐阜大学COC地域志向学プロジェクト採択]
岐阜大学 准教授 須山 知香氏

②市民・研究者・行政と一緒に
～地域連携の秘訣を教えます!～

先進事例発表 [多摩川]カワラノギクプロジェクトの取り組み
明治大学研究員:岡田 久子氏
NPO 法人自然環境アカデミー 理事:野村 亮氏

■見て触れてみよう (現地見学:14:30～16:00)

- ・砂礫河原再生箇所現状
- ・河原植物の生育状況等の観察
- ・外来種の除草体験



■意見交換会 (16:00～17:00)

●参加申込み方法●

①氏名 ②所属・職業 ③連絡先(住所, 電話番号, ファックス番号)をご記入の上、下記の申込み先に、電話、ファックスまたはメールでお申し込みください。

●申込み・問い合わせ先●

事務局:

木曾川上流河川事務所 河川環境課
担当:加藤・佐久間

TEL: 058-251-1378
FAX: 058-251-1150
E-mail: kankisojo@cbr.mlit.go.jp

講師の紹介

須山 知香 氏

岐阜大学 教育学部 理科教育講座(生物) 准教授

■専門

植物の系統分類

■取り組んでいるテーマ

- ・ミカワマツムシソウ、トヨボタニソバなどの地域固有種間の記載
- ・地域植物相の解明、タチツボスミレ類、マツムシソウ科の分類学的研究等

■ひとこと

標本見るのも、塩基配列読むのも、実物育てるのも、関連文献漁るのもエキサイティングですけど、やっぱりフィールドが一番！



岡田 久子 氏

明治大学 農学部 研究員

■専門

河川生態学、河川の環境保全学、河川生態工学

■取り組んでいるテーマ

- ・河川の環境保全と再生（特に都市河川、付着藻類と礫河原植物）
- ・河川の環境計画、環境政策、合意形成

■ひとこと

あるべき川の姿を模索する事を目的に、川が持つ問題を具現化する、市民・研究者・行政の協働による保全活動を通じて川の保全のあり方について合意形成（議論）する研究を行っています。



野村 亮 氏

NPO法人自然環境アカデミー 理事

■専門

環境教育、野生生物保護（鳥類）

■取り組んでいるテーマ

- ・人と自然の共生

■ひとこと

自然とのふれあいを通じた学び、傷ついた野鳥の野生復帰、動植物の調査などを進めています。また、人と自然との共生を考えることを大切にしながら、地域に密着して活動しています。



長良川砂礫河原再生について

■砂礫河原の今・昔

千三百年もの歴史を持つ鶺鴒の舞台として重要な長良川の砂礫河原は、かつては眩しいぐらいに白く輝く美しい河原でした。

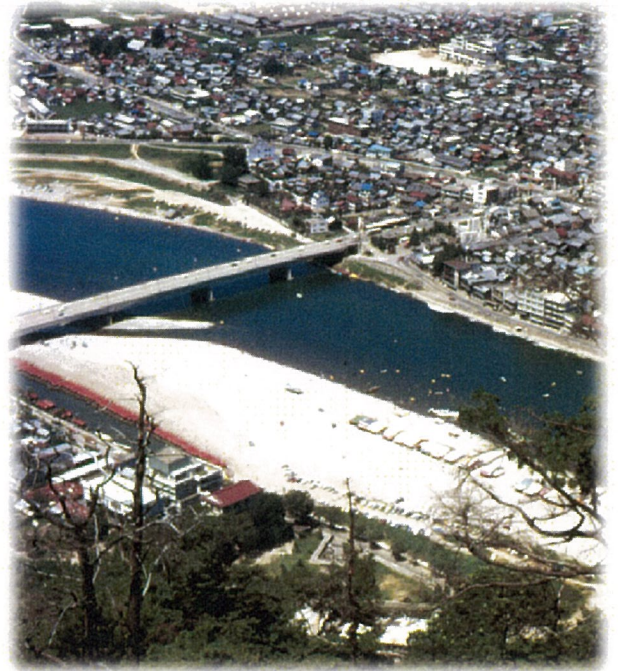
しかし、現在では外来植物などの繁茂により、その美しさは失われ、緑で覆われてしまっています。

■再生工事の実施

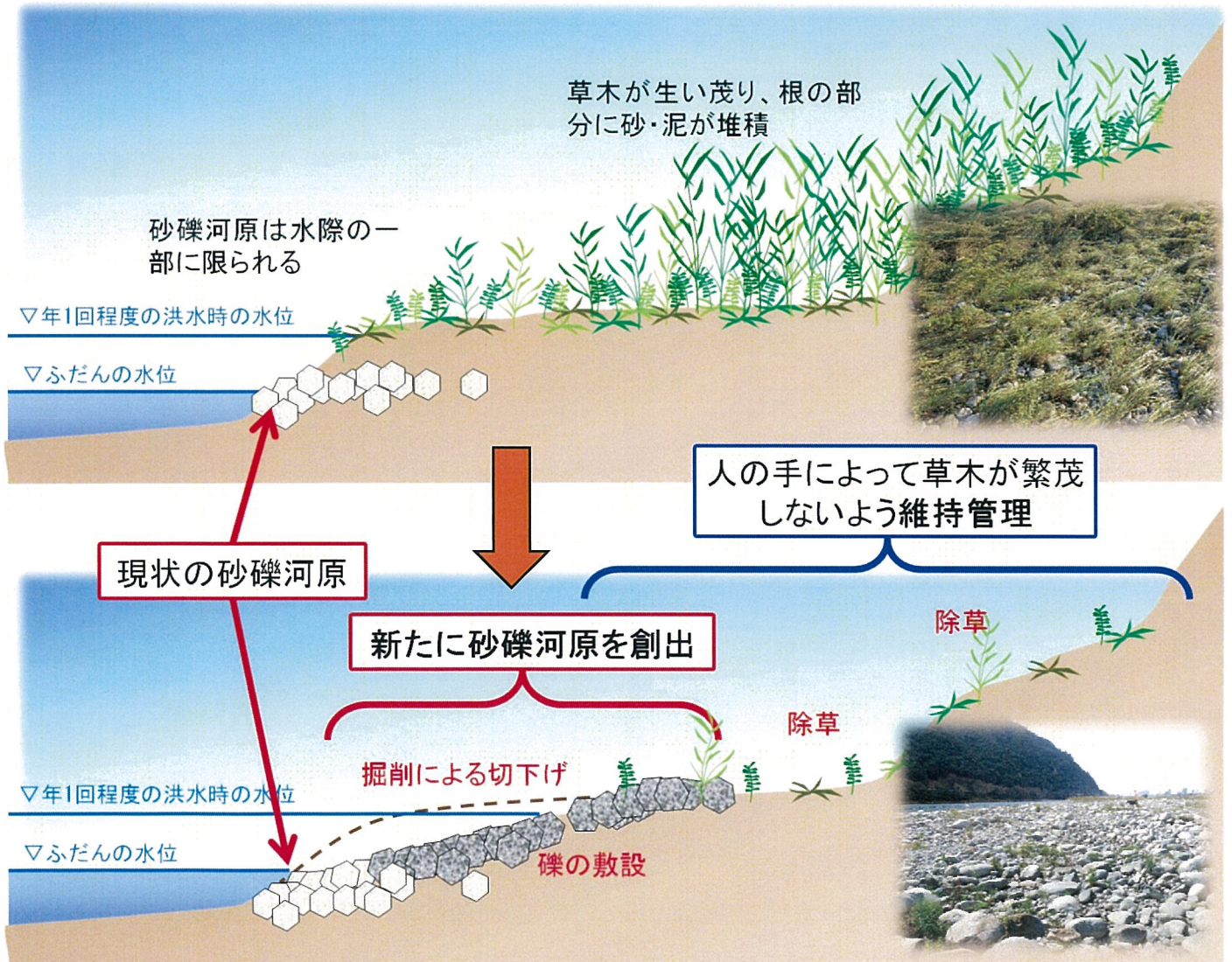
平成25年度より、岐阜グランドホテル前の河原において、砂礫河原を再生する工事を実施しています。

■これからの維持管理

かつての白く美しい砂礫河原を取り戻し、維持していくためには、人の手によって外来種が増えないよう管理することが必要です。



昭和44年頃の長良橋北詰周辺
(手前に写る河原が【白い砂礫河原】)



平成25年度に実施した砂礫河原再生工事の概要

会場案内

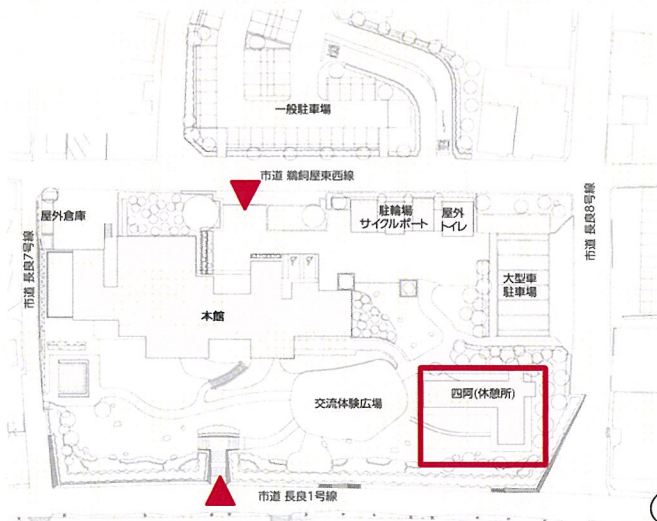
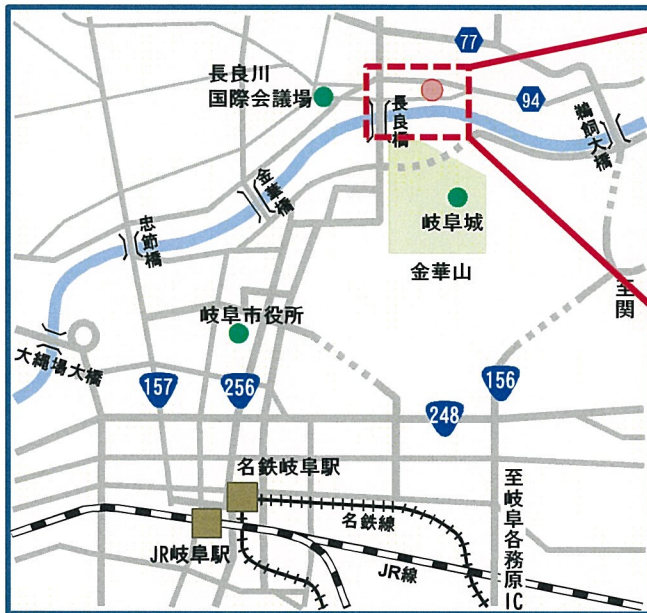
長良川うかいミュージアム 四阿(あずまや/休憩所)

〒502-01071 岐阜県岐阜市長良51番地2

TEL:058-210-1555 FAX:058-233-6658

【交通アクセス】

- JR岐阜駅および名鉄岐阜駅よりバスで15分 バス停[鶺鴒屋]より徒歩6分
- 東海北陸自動車道 [岐阜各務原IC]より約20分, [関IC]より約30分



(長良川うかいミュージアムホームページ<http://ukaimuseum.jp/>より)

■当日の服装、持ち物

服装:帽子、汚れてもよい服装および靴(スニーカーなど)、雨具(雨天時にカッパなど)
持ち物:筆記用具、軍手、飲み物

■留意点

駐車場はございますが、**有料**となっております。
現地見学では河原に行くため、**汚れてもよい服装や靴**でお越し下さい。
飲み物は各自でご用意下さい。(うかいミュージアム館内に売店もございます)

主催:国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所